

対象年度	令和 4年度	総合計画実施計画策定及び行政評価シート
------	--------	----------------------------

事務事業名	文化振興事業					予算事業名	文化振興事業費						
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	文化芸術基本法、結城市文化芸術条例				
			10	05	07	0501							

総合計画体系	未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう					事業の区分	主要事業				
	生涯学習環境の充実と市民が誇れる芸術文化の創造						生涯学習課				
芸術文化を楽しむ機会の充実					文化係						
事業期間	継続 (年度～ 年度)										

【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】 市民の文化活動を支援し、また、その成果を発表する場の提供を行うことによって、本市の文化芸術活動の振興を図る。 令和2年3月に策定した「結城市文化芸術推進基本計画」に基づき、市民が文化活動に精力的に取り組める環境を整備する。	【事業開始のきっかけや他市の状況など】 市民文化センターや情報センターを本市の文化・芸術活動の拠点として位置づけ、市民の文化活動の支援を実施するため。 結城市文化芸術条例の施行に伴い、基本計画を策定した。計画は本市を含め県内9市（石岡、常総、牛久、つくば他）、小山市で策定され
--	---

【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】 ○結城市文化協会への活動支援（補助金交付・活動周知及び啓発） ○結城市文化芸術審議会の開催及び運営	【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】 ・市民 ・市文化協会 ・文化芸術活動を行う団体等 【事業をとりまく環境の変化】 社会情勢が急激に変化しつつある中、文化は人の心に豊かさや潤いを与え、活気あふれる地域社会を作り出すうえで重要である。市として、体系的に文化芸術活動を推進するため、平成28年4月に結城市文化芸術条例を施行し、令和2年3月に結城市文化芸術基本計画を策定した。
--	---

【令和 4年度 事業内容】	【令和 5年度 事業内容】	【令和 6年度 事業内容】
・市文化協会へ補助金交付及びゆうき市文化祭の開催支援 ・文化芸術審議会の開催、基本計画の進行管理	・市文化協会へ補助金交付及びゆうき市文化祭の開催支援 ・文化芸術審議会の開催、基本計画の進行管理	・市文化協会へ補助金交付及びゆうき市文化祭の開催支援 ・文化芸術審議会の開催、基本計画の進行管理

■事業費

		R02年度	R03年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	361	1,788			
歳入計（千円）		361	1,788			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	01 報酬	51	30			
	10 需用費	0	153			
	13 使用料及び賃借料	0	200			
	18 負担金補助及び交付金	310	1,405			
歳出計（千円）（A）		361	1,788			
伸び率（％）			395.29			

備考	
----	--

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	ゆうき市文化祭の開催	回	目標	2.00	2.00	2.00
	文化団体に対して、文化祭行事の開催を支援し、市民が文化芸術に触れる機会をつくる。		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	文化協会加盟団体・個人数	団体・人	目標	40.00	40.00	41.00
	市民参加型事業の実施を目指すことで、加盟団体個人会員の増加に繋げる。		実績	40.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	文化祭等文化イベントを開催することで、市民の文化的生活の向上を目指し、未来の子どもたちの文化育成につなげられるため。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	結城市文化協会が主体的に活動を行っている。
	手段の妥当性	A 妥当である	ゆうき市文化祭は、令和2年度は中止だったが、通常は文化協会が主催し、準備や運営まで主体的に行い、市が補助金を交付するなど、活動を支援している。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	文化協会加盟団体は増加傾向にあり、文化祭の運営や加盟団体の対応に人員と時間を要する。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	活動支援は文化協会加盟の団体や個人が主であり、それ以外の団体等との連携が課題である。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	令和2年度の文化祭は中止だったが通常文化祭を各団体ごとではなく合同展として開催、音楽部門も合同発表会として開催することで来場者数の増加に繋がっている。文化祭を通じ市民が文化に触れる機会を与え市民の文化芸術の発展に寄与することができる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	合同文化祭の開催は定着し、市民が文化に触れる機会を増やすことができている。それにより、文化祭の来場者数増加に繋がっている。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

ゆうき市文化祭は、本市の秋の風物詩として定着しており、市民が直接、結城の文化に触れる行事として期待されているが、近年、文化協会会員の高齢化が懸念されており、若年層を取り込むことが課題であるため、文化協会やゆうき市文化祭を広くPRし、文化祭の開催継続に向け、幅広い世代で参加する仕組みをつくるのが大きな課題である。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

市民の文化活動に大きく貢献している文化協会の発展を促進することによって、市民文化のさらなる振興を図っていく。また、結城市文化芸術推進基本計画に定めた基本目標の実効性を高めるため、計画のフォローアップを行い、時代や市民ニーズに即した内容に随時見直しを図っていく。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

方向性の具体的内容

結城市文化芸術振興計画に基づき、結城市文化協会や他の文化団体との連携を図りながら、文化芸術事業を体系的に実施し、本市の文化振興を推進していく。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり。